

2025年度 第2回 POC 技術委員会議事

開催日時：2025年10月5日（日）9:00～10:20

開催形式：現地開催+Zoom ミーティング併催

出席者：藤巻慎一、後藤慎一、坂本秀生、竹澤理子、三好雅士、木下真紀、岡尚人、櫛引健一、
乗船政幸、奥村淳、江原佳史、中村政敏、黒沢幸嗣、奥田優子、太田麻衣子、服部聡、
木下敬一郎、福岡京子、木下陽介、繁正志、田中信悟、中井剛史、フマウイド・マリジョイ、
多田智美、山中威知郎、古田仁志、中野美晴、宮澤愛、山之内信介、寺山千晶、後藤泰輔、
原田典明、猪浦一人、桑克彦、菊池春人

欠席者：青山朋子、谷郷雅一、植田大輔、〆谷直人

【報告事項】

1. 委員の交代【三好：名簿添付】

下記の通り、新幹事就任と委員交代が行われたため、報告があった。

新幹事委員：黒沢幹事、中村幹事

シーメンス：池上委員 → 濱田委員

富士レビオ：山中委員 → 門富氏（理事会承認済み）

テルモ：山之内委員 → 松原氏（理事会承認待ち）

2. セミナー関連進捗【三好】

開催済・決定済 POC セミナーに関し、下記の通り報告があった。

➤ 開催済) 第95・96回 POC セミナー：WEB【木下（敬）】

① テーマ： 認定試験対策基礎講座

② 会期： 2025年7月～8月

③ 担当： (主) 木下敬一郎委員、木下陽介委員、福岡委員、三好事務局、木村委員

④ 参加者（事前申し込み人数）：95回-166人 96回-177人

➤ 開催済) 第97回 POC セミナー：【太田】

① テーマ： 「POCT の精度管理・品質保証」～品質保証のピットフォールを防ぐために～

② 会期： 第72回 日本臨床検査医学会学術集会（千葉）との共催
2025年8月30日（土）16:30～18:30 幕張メッセ

③ 担当： (主) 太田委員、後藤委員長、三好事務局

④ 参加者： 70人

➤ 開催済) 第98回 POC セミナー【服部】

① テーマ： 「症状から考える POCT」～POCT de 超音波

② 会期： 日本医療検査科学会 第57回大会（横浜）との共催予定
2025年10月3日（金）13:15～17:00 パシフィコ横浜

③ 担当： (主) 服部委員、黒沢委員、田中委員、木下真紀事務局、木村委員、牟田委員

- ④ 参加者： 座学：140人 実習：120人
- 開催済) 認定 POC コーディネーター更新セミナー【櫛引】
 - ① テーマ： 「更新者だって勉強したいもん。」
～どなたでもご参加できます！ 知識の整理をしてみましょう。～
 - ② 会期： 2025年10月4日(土) 13:10～15:00 パシフィコ横浜
 - ③ 担当： 櫛引幹事委員を中心に企画
 - ④ 参加者： 正確な人数は把握できていないが、例年よりの多くの参加者があった(200人)
- その他：【三好】
 - ① 第98回 POC セミナー、第16回更新セミナーについては、セミナー終了後、会場内でパスワード提示を実施
 - ② Google フォームでアンケートに回答→パスワード入力、により参加証をダウンロードする方式とした
- 第99回 POC セミナー？(単位付与が未定、付与がなければ POC セミナーとせず) [資料1](#)
 - ① テーマ： 「臨床現場で実施される POCT の精度をどう確保する？」
 - ② 会期： 第75回日本医学検査学会。2026年9月26日(土) 予定 幕張メッセ
 - ③ 開催方法： 座学
 - ④ 担当： 後藤委員長、竹澤副委員長
 - ⑤ 演者： 坂本副委員長、寺内氏、佐藤氏、乗船幹事(決定済)

3. 認定試験関連進捗【後藤】

認定試験に関して以下の通り報告があった

- 認定試験
 - ① 受験者21人(内1名再受験)
 - ② 8月31日に認定WG会議(学会事務所)にて開催
 - ③ 試験問題最終調整中(学会提出期限9月26日)
- 認定更新状況
 - ① 更新申請期間：9/1～11/14
 - ② 認定期間延長申請者：2名
 - ③ 更新申請状況：現状40～50名の申請、本学会のセミナーを受け申請の可能性あり
 - ④ 更新申請に関しては、集中による混乱を避けるため、2期制とする方針で学会事務局と調整する
2期制としても、認定期間は変更なしの予定
 - ⑤ システム単位企画をセミナー企画において定期的な開催を計画する必要あり

4. POCC 認定テキスト改訂進捗【後藤】

- 8月12日に入稿 初稿未納の校正中
 - ① COI 提出依頼中
 - ② 11月25日発刊予定

5. 兵庫県医師会精度管理調査進捗【後藤・木下：資料2】

兵庫県医師会実施予定の外部精度管理調査に関する進捗報告がなされた

- ▶ 背景： 天理の松尾 Dr より兵庫県の開業医を対象にした外部精度管理調査を行実施に際し、委員会に協力依頼があり。対象は主に開業医・クリニックとしている。
- ▶ 実施時期： 今年度中に企画、来年度に開催できるよう検討中
- ▶ 項目： CBC・CRP・Glu を予定（項目および対象施設はアンケート終了後に決定）
- ▶ 実施組織： 兵庫県医師会主催、兵庫県技師会、POC 技術委員会
- ▶ 集計等： 兵庫県医師会（各学会での報告会などを実施しと各施設への指導を実施）
兵庫県内の POCC（5 名）を中心に、関西の POCC、POC 委員会メンバーで補助を行う方針で進めている
- ▶ 諸費用： 兵庫県医師会（主催）から支出する予定
- ▶ 実施計画
 - ① 兵庫県医師会と協力してアンケート作成が終了し、9月18日の兵庫県医師会理事会まち
 - ② 承認後、10月1日にアンケート配布、10月24日締め切りとする。
 - ③ 兵庫県理事会にてこの事業が承認されれば、当学会でのアンケート結果報告も可能
 - ④ 3団体（兵庫県技師会・医師会・医療検査科学会）で運営する
 - ⑤ 日臨技へは7月末に兵庫県医師会サーベイと75THJAMT についてメールにて報告済み
- ▶ 懸案事項（試料の調整・目標値・準備作成試料等）
 - ⑥ 本件に関する Know/How に関し兵臨技を参考とする予定
 - ⑦ メーカーのコントロール（サーベイ試料）はメーカー間差が大きく使用が困難
 - ⑧ 毎年実施、あるいは他県からの同様の依頼があった場合にすべて対応することは困難

6. 認定制度を管理するシステム導入について【後藤・資料3】

- ・ 2027年の導入を目指して10月3日理事会で承認された。
仕様書を作成し、理事会提出済
- ・ 委員会、学会事務局、理事長、萩原理事のメンバーでシステム構築WGを立ち上げる

7. 認定試験WGの日当について【後藤】

- ・ 認定試験作業の中で担当者の負担になっている事務所での問題作成について日当を出してもらえよう12月の理事会で審議予定（5時間×2日）
- ・ 2026年度からの支給を目指す

7. その他

- ・ 特になし

【検討事項】

1. 2026年度セミナー企画について【後藤】

以下のセミナーに関し討議を実施し、担当者、開催の決定がなされた

➤ WEBセミナー

- ① テーマ： POCT 認定試験対策
- ② 担当者： 木村委員、牟田委員中心に実施
- ③ 開催時期： 2026年7～8月
- ④ 開催方法： Webによる動画（テキスト改訂となるため、新規での作成を実施予定）
過去問の解説を含めた問題開示を行う。

➤ 第100回POCセミナー

- ① テーマ： POCTの歴史とこれから（AI）
- ② 会期： 日本医療検査科学会年次集会（2026年 神戸・木曜午後開催予定）
- ③ 開催方式： 座学+実習の二部構成とする
- ④ 担当者： 後藤委員長+幹事委員で担当
- ⑤ 演者： 弘前大学 野坂先生+歴代委員長（松尾、べ谷、福田）
- ⑥ 実習： 尿・便を検体とした検査（一般検査）に関し実施を行う方針とした
- ⑦ その他： 2026年度は神戸開催のため、会場スペース、電源に制限があるため、事前に大会事務局への申し入れが必要

・ 第17回POCC更新セミナー

➤ 兵庫県サーベイ結果報告会とし、企画を立案する

- ① テーマ： 「兵庫県医師会 POCT 精度管理報告会～クリニックにおける精度管理を考える～」
- ② 会期： 日本医療検査科学会年次集会（2026年 神戸・金曜午後開催予定）
- ③ 開催方法： 座学
- ④ 担当者： 坂本副委員長、中村幹事

・ 第XXX回POCセミナー

➤ 日本臨床検査医学会共催セミナーとして開催を予定

- ① テーマ： 未定
- ② 会期： 日本臨床検査医学会（2026年 幕張メッセ）2026年12月17日～19日
- ③ 開催方法： 座学
- ④ 担当者： 黒沢幹事、乗船幹事

・ 第XXX回POCセミナー@近畿支部医学検査学会【木下】

➤ 近畿支部医学検査学会共催企画として開催を予定

- ① テーマ： 未定
- ② 会期： 2026年9月（奈良）
- ③ 開催方法： 2時間・座学・100名：小規模の展示、実習等を検討

会場について検討中

- ④ 担当者： 繁委員・福岡委員・木下事務局

2. 認定制度の改正、特に単位付与のあり方について【後藤・資料4】

本学会として、POC コーディネーターの育成を積極的に実施する方針が出ており、認定者増の施策に関し、認定制度における単位取得、セミナー参加に関する討議を実施し、下記の通り合意された

➤ 課題：

- ① 取得単位4分野の明確化
- ② 更新条件の変更を検討（現在は更新条件が6単位+更新セミナー受講が必須）
- ③ 実習不参加でもWEBセミナーだけで更新ができる可能性あり
- ④ 実習ありセミナーの開催回数が限定的であるため、座学のみセミナーは全て総論しか付与できない仕組みだったが、受験者を増やすために座学でも総論以外を出している状況

➤ 合意事項：

- ① 単位取得に際しては実習参加を必須とし、別建てとし規定することで合意
- ② ガイドラインの各章が、4分野のどれにあたるか比較表を作成し参考とすることで合意
- ③ 1年間で、各単位が取得可能となるようセミナー開催を計画することで合意

➤ 対策：

- ① 地臨技での開催の推進により開催回数を増やす事を基本方針とする
 - 地方での開催に関しては地臨技との連携が必要である
 - コンプライアンス上の課題をクリアするため、メーカー各社は企画段階から参加する共催として積極参加することで合意
- ② 改正に関し、早期に告知をして移行期間を設ける必要あり

➤ その他：

- ① POC 技術委員が中心となって企画・単位配布を行う事で合意
- ② 年に1回どこかの日臨技支部会で開催を画策
- ③ 各地域のPOCCを演者とし、発表の場としても活用
 - 委員分布に地域差があるという問題点あり
- ④ 企業開催のセミナー等でも単位を付与できる仕組みの構築

3. POCTにおけるピットフォール収集事業の立ち上げ【後藤】

POCTに関するピットフォール事例の収集をPOCセミナーでの報告会にも視野に入れて検討することで合意

➤ POCCからの相談

➤ 企業との協力体制も必要

- ◇ コールセンターへの問い合わせ事例、取説記載の使用法を含めて開示の可能性を検討

*2026年度から開始し、委員会下部組織としてWGを設置する。(内規変更が必要)

4. その他
特になし

以上